鳥取大学地域学部地域文化学科二〇〇九年度地域文化調査

無駄安留記隊 報告書

2009

『無駄安留記』原本 （鳥取県立図書館所蔵）

はじめに

無駄安留記隊報告書二〇〇九年版がようやくできあがろうとしている。報告書の元になっている鳥取大学地域文化学科の「地域文化調査」も、五年目となった。今年度の高草郡（下）では、昨年度の高草郡（上）の続篇として、高草郡の後半部分の一六ヶ所についてとりあげた。昨年度は、高草郡のなかでも千代川下流左岸平野の限られた部分に調査対象を絞ったのに対し、今年度の調査は高草郡全体をとりあげたものである。

高草郡は逸処が居住していたと考えられる鳥取市内から行くとすると、地理的に西方向、南西方向、南方向の主に三つに分けることができたようだ。西方向とは伯耆街道、すなわち旧九号線沿いにあたる地域である。南西方向とは現在の立見峠を越えて吉岡に至る道沿いにあたる地域で、江戸時代は吉岡温泉へ行くためはこの道がよく使われていたようである。そして南方向とは千代川左岸を河原に至る道（現県道四二号線）沿いの地域である。無駄安留記の記載の分け方もほぼこれに準じている。出かける方向が三方向であるため、この地域の名所を訪れるために、無駄安留記の作者である逸処が幾度もくりかえし出かけて行ったであろうことは、想像に難くない。

本報告書のまず最初は、湖山村の名物である湖山池の産物についての報告から始まる。名物・名産についての記述は『無駄安留記』のなかでもそれほど多くはないが、ここでは「鰻の蒲焼名物」とリアルなのが面白い。この名物の調査のため、湖山の田中氏宅に聞き取りにうかがった。鰻を運んだ籠なども出してきて見せていただくなどした。お礼を申し上げておきたい。湖山ではそのほか、現在は移転し湖山の栖岸寺に安置されている猫薬師についても、同寺の御住職に話を聞かせていただいた。同じく、お礼を申し上げる。さらに、菖蒲座光寺所蔵『因幡堂絵巻』、および吉岡宝泉寺所蔵『吉岡温泉記』については、それぞれ付録二、付録三として、本報告書に翻刻を掲載した。掲載にあたって、ご協力・ご尽力いただいた方々にも、この場でお礼を申し上げておきたい。

ここで、本調査にあたって有効であった鳥取県立図書館所蔵の「高草郡全図」について述べておく。文政年間（一八一八―三〇）に作成された「因幡国八郡の絵図」の一つであるこの地図には、無駄安留記に記載されている「糯塚（すくも）」および「高住不動ヶ嵜」の地名がはっきり書きこまれていた。この地図上の記載が、現在ではほとんど忘れられていると思われるこれらの名所の〈発見〉に大いに役立った。絵図とはいえ、同時代の地図を参照することの有効性を、あらためて認識した。

だが、古地図等を参照してもわからなかった名所も、なお二ヶ所ある。伯州街道沿い、おそらくは白兎神社よりさらに西にあるのではないかと思われる竜ヶ崎、そして砂見の布引の瀑布である。もし、ご存じの方がおられれば、是非情報をお寄せいただきたく、お願いする。

この二ヶ所以外に、本報告書で取りあげることのできなかった名所等を列挙しておく。産見長者屋敷、白兎神社、三熊権現、長谷村建石、長谷寺観音、長谷村の娘する、大塚吉岡将監古墳、拾遺巻では秋里大橋、長谷村太平石。以上が未調査である。

（茨木　透）

目次

はじめに …… iii

『稲葉佳景』無駄安留記』調査報告（高草郡篇下） …… 1

湖山の名物 3
大寺屋 5
栖岸寺 猫薬師 6
洗濯島 8
高住不動ヶ嵜 10
稲塚 12
天神山城 14
山王祠 16
横枕・朝日寺 18
菖蒲座光寺 20
多地見峠 22
吉岡箕上山 25
葛籠尾砦 27

吉岡温泉・宝泉寺　29
釣ノ山吉祥寺　32
玉津鵜尾城　34
調査の記録　36
付録一　翻刻『稲葉佳景無駄安留記』高草郡……39
付録二　資料紹介『因幡堂縁起絵巻』菖蒲山座光寺所蔵……49
付録三　翻刻『吉岡温泉記』……71
おわりに　81